

各地域における実施状況報告

本年度検討を実施した南大泉地域、関町ルート（武蔵関駅周辺地域）の実施状況を報告する。

1. 南大泉地域の取組み

1.1 地域概況

南大泉地域は、現在練馬区内に存在する公共交通空白地域の中で、最も面積の広い地域であり、平成20年度に行われた導入可能性に関する検討において、小型のバスでの運行が可能、また必要であるとされた地域である。

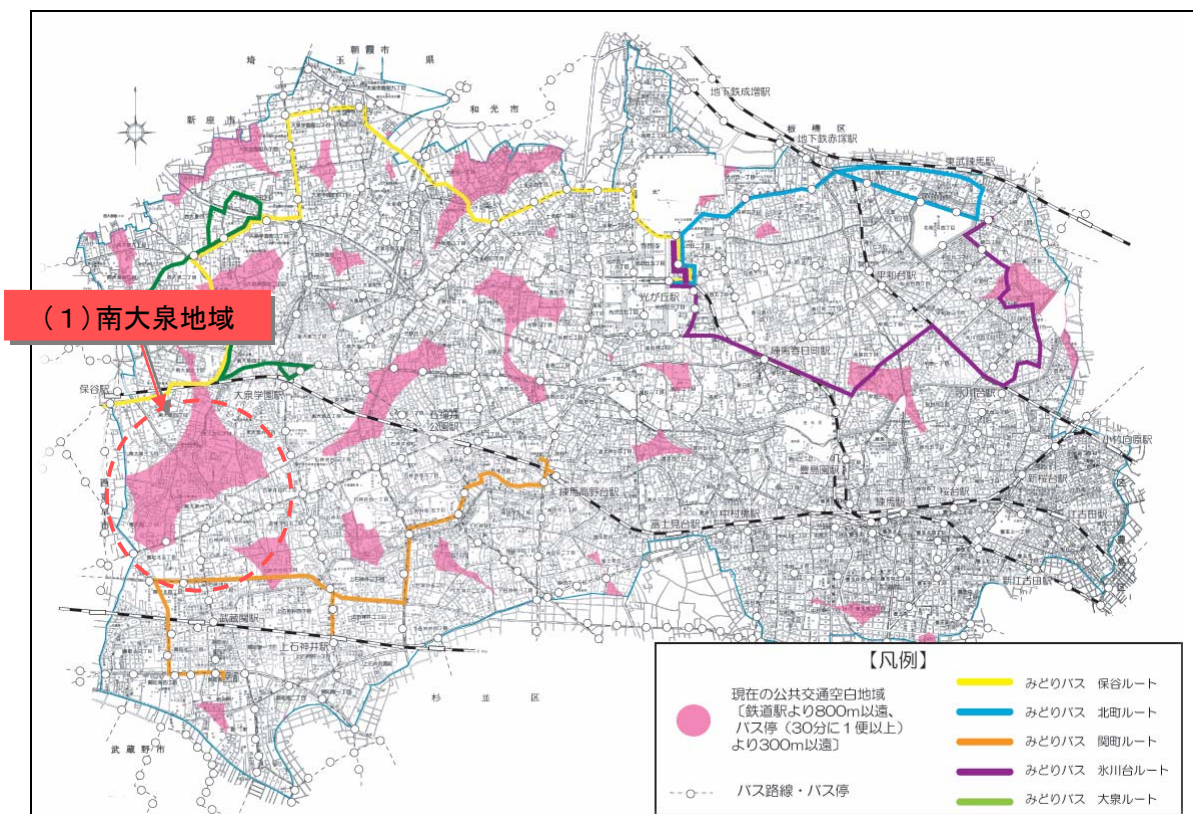


図 1-1 南大泉地域

1.2 検討プロセス

①地域検討組織の目的・目標

地域住民が主体となり、本地域における交通に関する課題や要望を整理し、継続的に運行できるコミュニティバスルート等を検討する。

②検討体制

【組織名称】 南大泉地域コミュニティバス検討会

【参加者】 地元町会、公募区民をあわせて19名

③検討会開催実績

これまで下記の通り 4 回開催した。

回・日時	検討テーマ
第 1 回 6 月 2 5 日	<ul style="list-style-type: none">・ 練馬区の公共交通の現状・ 練馬区における公共交通の取組み・ コミュニティバスとは何か・ 検討会の設置目的・ コミュニティバス検討の留意点・ ワークショップ（普段の外出、地域の問題点について）
第 2 回 7 月 2 2 日	<ul style="list-style-type: none">・ コミュニティバスが通行可能な道路幅員・ 南大泉ルート案検討のポイント・ 南大泉ルート案（素案）の検討・ ワークショップ（南大泉ルート案（素案）について）
第 3 回 8 月 2 6 日	<ul style="list-style-type: none">・ 南大泉ルート案（素案）による公共交通空白地域の改善予測・ 南大泉ルート案（素案）の客観的評価・ 南大泉ルート案（素案）の需要予測・採算性・ 南大泉ルート案（素案）の総合評価結果・ ワークショップ（南大泉ルート案（素案）の評価）
第 4 回 1 1 月 1 9 日	<ul style="list-style-type: none">・ 今までの検討経緯の確認・ 関係機関との協議結果報告・ 今後、検討が必要な事項



写真 1-1 ワークショップの様子

④検討経緯

5月

練馬区広報（5月11日号）および、HP、チラシにて
南大泉地域コミュニティバス検討会メンバー募集開始

p.4 参考資料1

5/28 第1回練馬区地域公共交通会議

6月25日 第1回南大泉地域コミュニティバス検討会を開催

検討の進め方、練馬区でのコミュニティバスの経緯、導入方針を説明。
ワークショップを開催し、地域の問題点をメンバーで共有。

p.5 参考資料2

7/16 コミュニティバスの名称を「みどりバス」、および料金を統一し、再編運行開始

7月22日 第2回南大泉地域コミュニティバス検討会を開催

前回の検討結果、道路幅員調査等を基に南大泉ルート案4案（素案）を作成。
ワークショップを開催し、南大泉ルート案（素案）について議論。
※各ルートに関して意見が集約され、次回まで各ルートに関して公共交通空白地域改善の改善状況や、客観的な評価指標を用いて分析を行うこととなった。

p.6 参考資料3

8月26日 第3回南大泉地域コミュニティバス検討会を開催

南大泉ルート案4案について以下の10種類の項目で評価を行った。
（客観的評価平均点、公共交通空白地域改善面積、運行距離、混雑の激しい道路の有無、既存バス路線競合割合、運行経費、需要予測結果、収入額、年間区負担額、年間区負担割合）
⇒ルート案①“循環案”を、今後の関係機関との協議対象ルートとした。

p.7 参考資料4

9月～11月 関係機関協議

協議対象ルート（ルート案①）を基に、関係機関〔道路管理者、交通管理者、バス事業者（アドバイザー）〕と協議を実施し、ルート案①の運行可否の精査を実施。
⇒車道幅員等について現地状況を精査した結果、ルート案①“循環案”では運行が困難と判明した。

11月19日 第4回南大泉地域コミュニティバス検討会を開催

関係機関協議の結果について、報告を行い、今後の方針を議論。
⇒議論の結果、今後は保谷駅～石神井台八丁目交差点間（図1-3 区間A参照）を通る運行可能なルートの検討を進めることとなった。

現在、関係機関協議を継続し、運行可能なルートの検討を行っている。
併せて、現状の交通状況を把握する為、2月に交通量調査を実施。

1.3 参考資料

参考資料 1) 南大泉コミュニティバス検討会メンバー募集チラシ

コミュニティバスを走らせましょう

南大泉地域コミュニティバス検討会

メンバー募集のお知らせ



コミュニティバスとは...

区が小型バス等を用いて運営する公共交通のことで、現在区内に5路線あります。昨年までの調査の結果、南大泉地域は最寄駅までの交通が不便であることなどが判りましたが、道が狭く大型のバスでは運行が難しいため、コミュニティバスを導入し、住民皆様の足としてご利用していただくことを考えております。

地域検討会とは...

地域の皆様の日常の足としてご利用いただくためには、皆様のご理解とご協力が不可欠です。そのために皆様といっしょにコミュニティバスの具体的なルート設定やバス停の配置などの計画を立て、便利で快適な運行の実現を目指す組織です。

参加するには...

下記の要領をご覧ください、お申し込みください。詳しくは練馬区交通企画課までお問い合わせください。

(対象) つぎの①②の両方にあてはまる方
 ①南大泉1～4丁目・東大泉7丁目に在住。
 ②6～9月に月1回、平日夜間に2時間程度開催する会議に参加できる。

(募集人数) 5名程度(選考)

(申し込み) 切り取り線以下をご記入の上、直接または郵送、ファクス、電子メールで5月22日(必着)までに交通企画課(区役所本庁舎16階)へ。
 TEL 5984-1274 FAX 5984-1226 電子メール kotsu-k02@city.nerima.tokyo.jp
 郵送先 〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6-12-1 練馬区役所交通企画課宛

----- 切り取り線 -----

南大泉地域コミュニティバス検討会 応募用紙

①住所		②氏名(ふりがな)	
③年齢		④性別	
⑤職業		⑥電話番号	
⑦応募動機(100字程度)			

4

参考資料2) 地域の問題点 (第1回検討会における指摘事項)

以下の図は、第1回検討会内のワークショップにおいてメンバーから指摘のあった地域の問題点、課題、コミュニティバスへの要望を整理したものである。

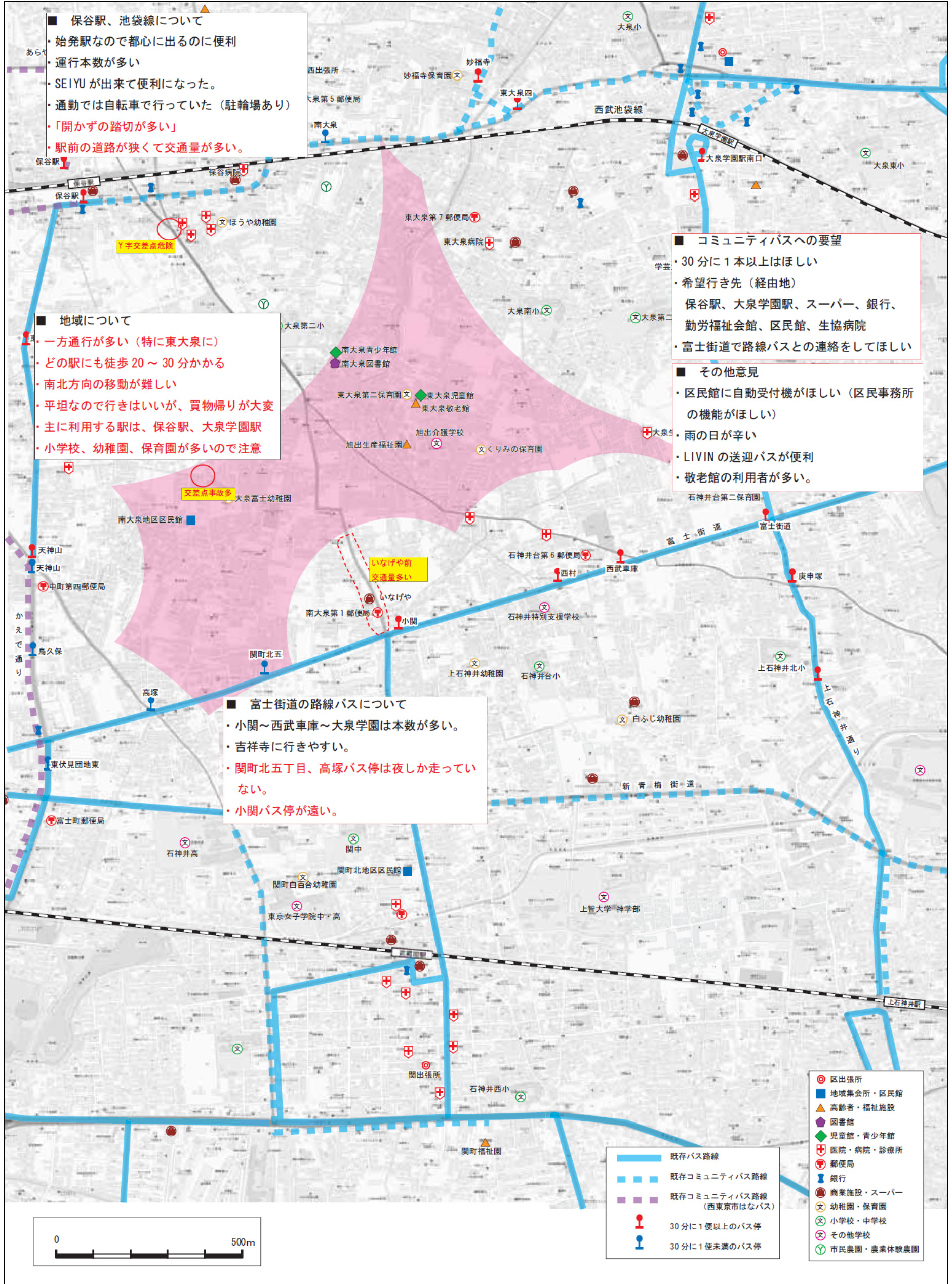


図 1-2 南大泉地域の問題点

参考資料3) ルート案の検討(第2回検討会の整理)

以下の図は、第2回検討会で提示されたルート案(素案)についてメンバーからの意見を整理したものである。

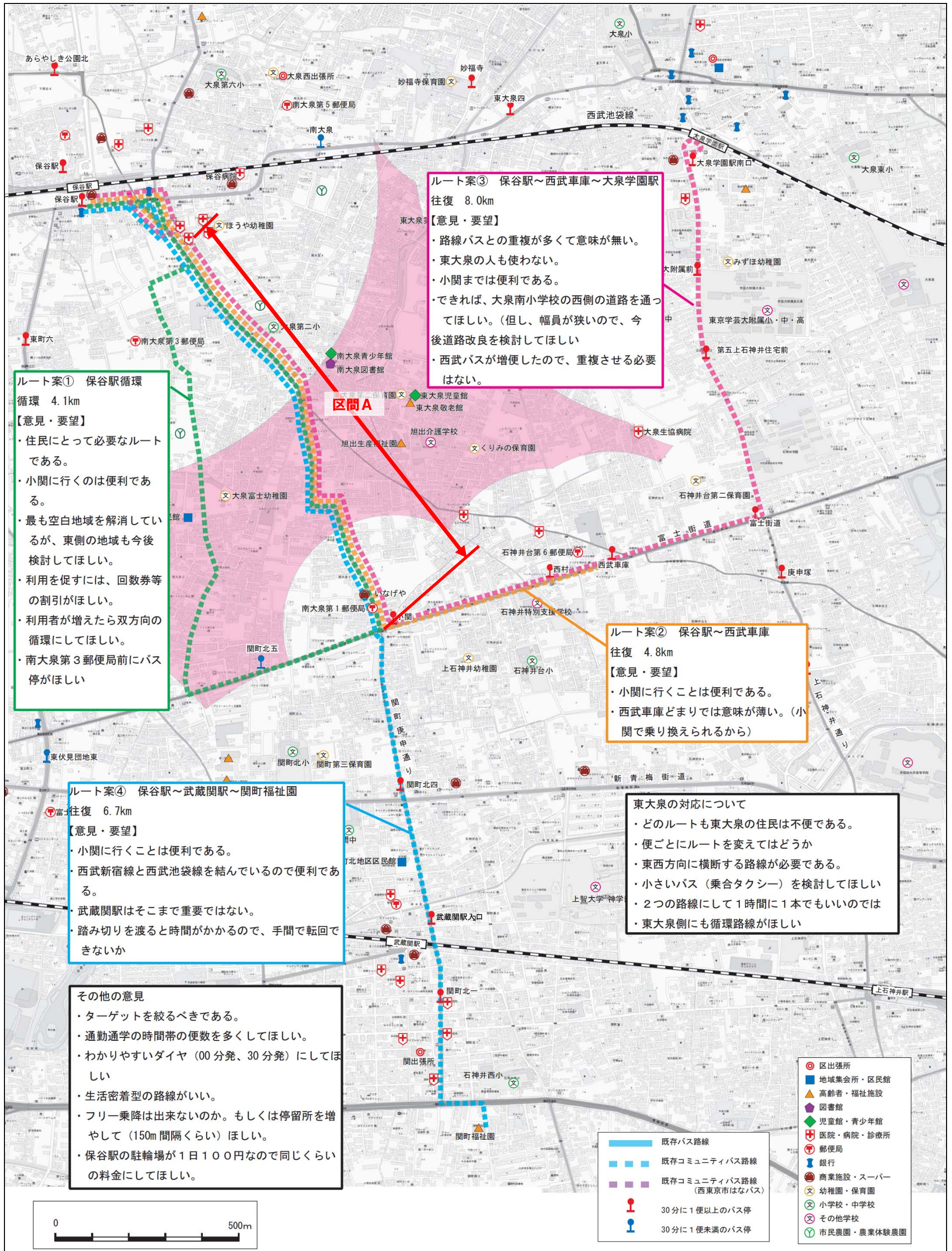


図 1-3 南大泉ルート案(素案)

参考資料 4) ルート案の総合評価

以下の表は、南大泉ルート案について、示された10項目について評価し、最も優れた案に4点、以下3点、2点、1点を与え総合的に評価したものである。全ての項目についてルート案①“循環案”が最も高い評価を得ている。

表 1-1 ルート案の総合評価結果

項目	案①	案②	案③	案④
客観的評価平均点	4	2	1	3
公共交通空白地域改善面積	4	2	2	2
運行距離	4	3	1	2
混雑の激しい道路の有無	4	4	4	4
既存バス路線競合割合	4	3	1	2
運行経費	4	3	1	2
需要予測結果	4	1	2	3
収入額	4	1	2	3
年間区負担額	4	3	1	2
年間区負担割合	4	3	1	2
総合評価点(40点満点)	40	25	16	25

参考資料5) 南大泉コミュニティバス通信

以下の資料は、検討状況について対象地区住民に周知することを目的として作成した。

南大泉コミュニティバス通信 vol.1

2009. 7

南大泉地域コミュニティバス検討会が発足しました！！

平成21年6月25日、南大泉地区区民館にて、「第1回南大泉地域コミュニティバス検討会」を開催いたしました。検討会のメンバーは、町会からの選出、区報による公募でお集まりいただいた19名の南大泉、東大泉にお住まいの方々です。

この検討会は、公共交通の不便な地域にコミュニティバスを走らせるため、地域のみなさまと一緒に計画を作り上げていくことを目的として発足しました。これから月1回程度の検討を重ね、今年度中の運行開始を目指しています。

検討会の様子や、検討結果は随時、「南大泉コミュニティバス通信」として、皆様にお知らせいたします。



コミュニティバスについては
…<http://www.city.nerima.tokyo.jp/mati/koutu/>
もしくは交通企画課までお問い合わせください。

■第1回検討会での主な検討内容

- 練馬区の公共交通の現状と課題
- コミュニティバスについて
- コミュニティバス検討会について
- ワークショップ

■ワークショップでの主な意見

- ・ 保谷駅、大泉学園駅、武蔵関駅のどの駅も歩くか自転車で行く
- ・ 地域内は狭く一方通行の道路が多い
- ・ 富士街道の路線バスは西武車庫止まりが多い
- ・ 富士街道で路線バスに乗り継げるようにしてほしい
- ・ 晴れている日は良いが、雨の日の買物は大変
- ・ 病院までの交通手段がほしい
- ・ 小学校、幼稚園、保育園が多いので、運行には十分注意してほしい

ワークショップでは、2つの班に分かれて、地域の問題点・課題について話し合いました。



駅前の道はとても狭いよ。

最後に各班の意見を発表しました。



練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 交通企画課 練馬区役所本庁舎16F
電話：(03)-5984-1274 FAX：(03)-5984-1226 E-mail:kotsu-k02@city.nerima.tokyo.jp

南大泉コミュニティバス通信 vol.2

2009. 9

第2回、第3回南大泉地域コミュニティバス検討会を開催しました！！

平成21年7月22日、8月26日、南大泉地区区民館にて、第2回、第3回南大泉地域コミュニティバス検討会が開催されました。

第2回検討会では、南大泉地域の道路状況についてみなさまに確認していただき、コミュニティバスが走れる道路について話し合いを行い、いくつかのルート案を出してそれぞれのメリット、デメリットについてワークショップを開催しました。

第3回検討会では、公共交通空白地域※1がどれだけ改善できるのか、それぞれのルート案はどれだけの人を利用しそうなのかを話し合い、南大泉での導入について具体的な案をとりまとめました。



コミュニティバスについては
…<http://www.city.nerima.tokyo.jp/mati/koutu/>
もしくは交通企画課までお問い合わせください。

※1「公共交通空白地域」・・・駅から800m以上、バス停（30分に1便以上）から300m以上離れた相対的に公共交通が不便な地域

■ワークショップでの主な意見

- ・保谷駅を起点とした運行をおこなってほしい。
- ・小関バス停で、路線バスに乗り換えが出来るようにしてほしい。
- ・東大泉町内は、小型の車両でキメ細やかなルート設定をしてほしい。
- ・保谷駅を起点として、南大泉、東大泉にそれぞれ循環路線がほしい。
- ・小関のバス停は、いなげや側に設置し、路線バスの小関バス停まで、安全に移動できるように歩道を整備してほしい。
- ・まず、道路幅員が十分あり、早期実現可能なルートを導入し、幅員が狭い地域に関しては、道路の改良も含めて検討してほしい。



2つの班に別れ、大きな地図を使ってワークショップ



各班の意見を代表者が発表します

練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 交通企画課 練馬区役所本庁舎16F
電話：(03)-5984-1274 FAX：(03)-5984-1226 E-mail:kotsu-k02@city.nerima.tokyo.jp

2. 関町ルート（武蔵関駅周辺地域）の取組み

2.1 関町ルートの概要

(1) 路線概況

- 1) 運行開始時期 : 平成 19 年 4 月【試行運行】
- 2) 運行便数 : 順天堂練馬病院行き 12 便／日 関町福祉園行き 11 便／日
- 3) 使用車両 : 小型ノンステップバス 31 人乗り
- 4) 路線図 : 下図参照
- 5) 運行日 : 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）を除く毎日
- 6) 運賃 : 大人 210 円 小人 110 円

ただし、つぎの方は 110 円

- ①65 歳以上の高齢者の方
- ②身体障害者手帳、愛の手帳をお持ちの方と付き添いの方
- ③写真付き精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方

※ ①は年齢の分かるもの、②③は手帳を乗車時に提示すること。



図 2-1 関町ルート

(2) 関町ルートへの導入の背景

1) 福祉コミュニティバスとしての導入 (H17 年度～)

高齢化を背景に、区民のバス交通に対するニーズが多様化していく中で、区内中核病院へのアクセスが重要な課題となっていた。区立施設である福祉園の送迎バスの空き時間を活用し、福祉園送迎機能とコミュニティバス機能を融合させる形で平成 17 年度より「福祉コミュニティバス（関町ルート）」として関町福祉園と順天堂練馬病院をつなぐ路線の運行を開始した。

2) 福祉コミュニティバスとしての導入 (H19 年度～)

平成 19 年度には小型ノンステップバスを使用した形で運行を開始した。

3) みどりバスとして再編運行開始 (H21 年度～)

平成 21 年度、区内の「練馬区シャトルバス」、「バス交通実験」、「福祉コミュニティバス」の運賃を統一し、「みどりバス」として再編運行を開始した。

⇒関町ルートはもともと関町福祉園の送迎バスの空き時間を活用した運行であり、福祉園を結ぶ前提のもと路線設定された。このため、現在の路線も福祉園を結ぶ形態が維持されている。

(3) 関町ルートの問題点・課題

1) 1 便あたり利用者数

- 1 便あたりの利用者数は、9 人であり区内 5 路線のうち最も少ない。(平成 20 年度実績) (資料 1 参照)

2) ランニングコストに対する負担比率

- ランニングコストに対する区の負担比率は 69%と高い。(平成 20 年度実績) (資料 1 参照)
- 練馬区のコミュニティバス導入の考え方(基本方針)では「ランニングコスト(運行経費)は運賃収入により賄うことを基本とし 1/2 程度まで負担できるもの」となり、過度の負担となっている。

3) 路線設定

- 練馬区のコミュニティバス導入の考え方(基本方針)には公共交通空白地域と最寄り駅を結ぶことを原則とし」とあるが、路線の一端は福祉園止まりとなっており、合致していない。(導入の背景より、福祉園止まりの路線となっている。)

4) バス停および区間別利用状況(参考資料 1、2 参照)

- 参考資料 1、2 に示すグラフは、平成 19 年度に実施した利用実態調査結果(3 日間実施)である。
- バス停利用は順天堂練馬病院、上石神井駅、練馬高野台駅の乗降が多い。
- 区間別利用状況は、関町福祉園を含む関町周辺の地域において少ない傾向にある。

⇒運行上の課題や、ランニングコストに対する区の負担比率の課題改善(区負担を 1/2 程度に改善)する為、経路変更や運行方法の再検討が必要である。

参考資料 1) 関町ルート各バス停乗降客数 (3日間全便合計) (平成19年度)

乗降客数 (人/3日間)

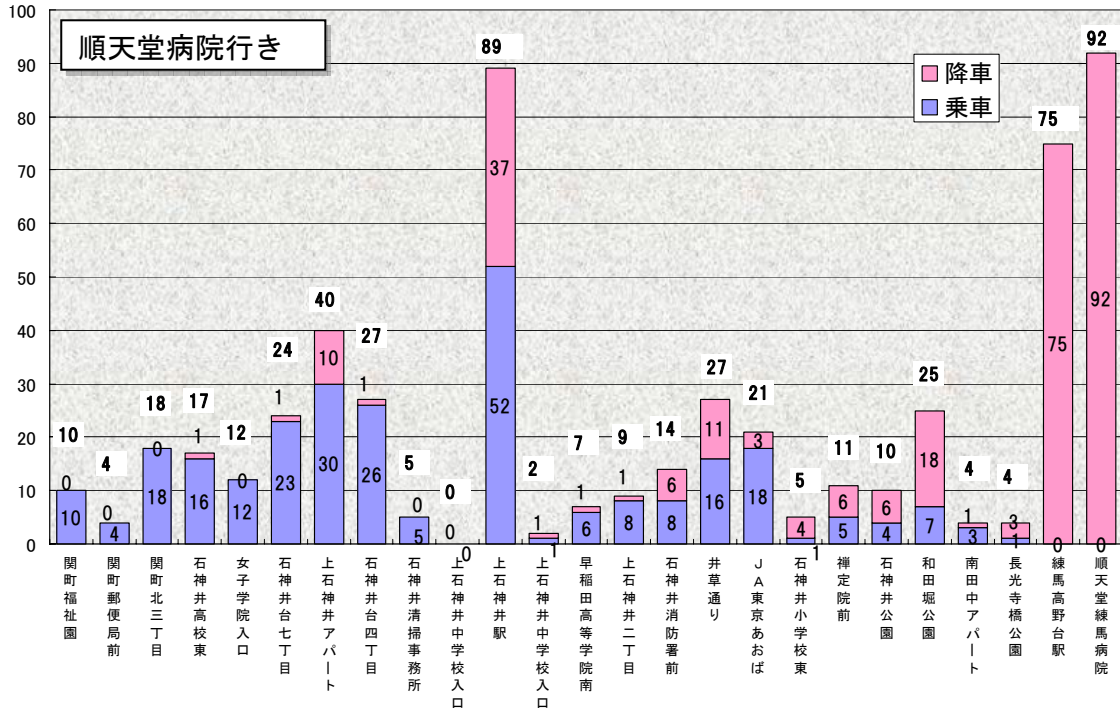


図 2-2 関町ルート各バス停乗降客数 (順天堂病院行き) 3日間全便合計

乗降客数 (人/3日間)

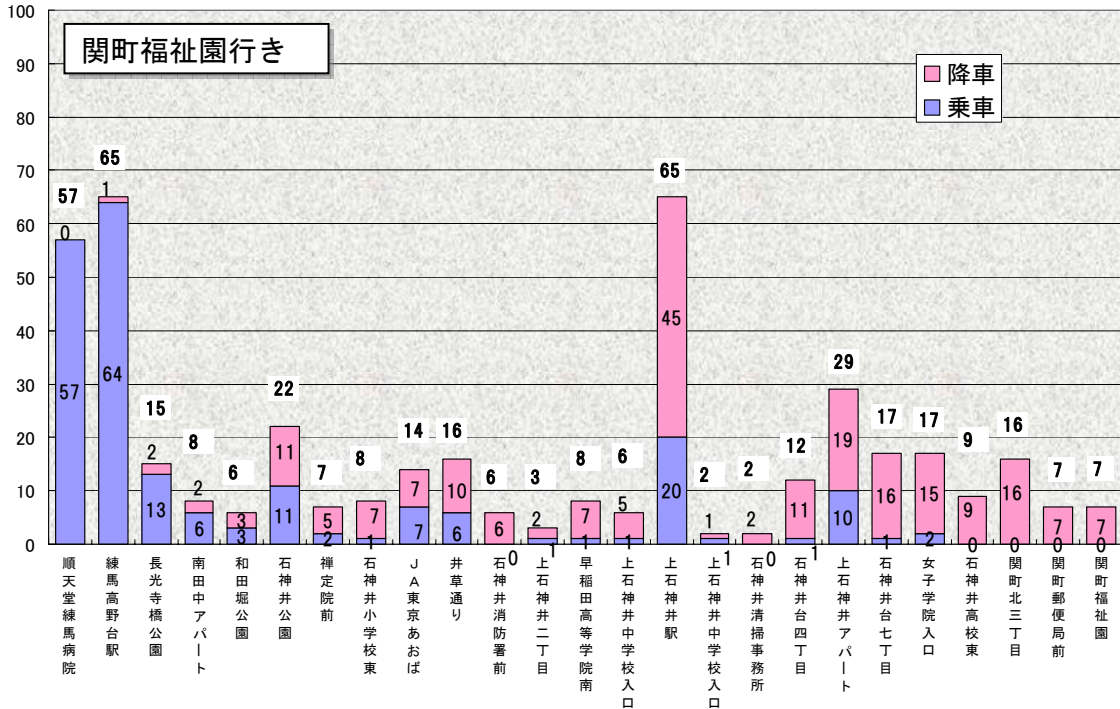


図 2-3 関町ルート各バス停乗降客数 (関町福祉園行き) 3日間全便合計

乗降客数（人／3日間）

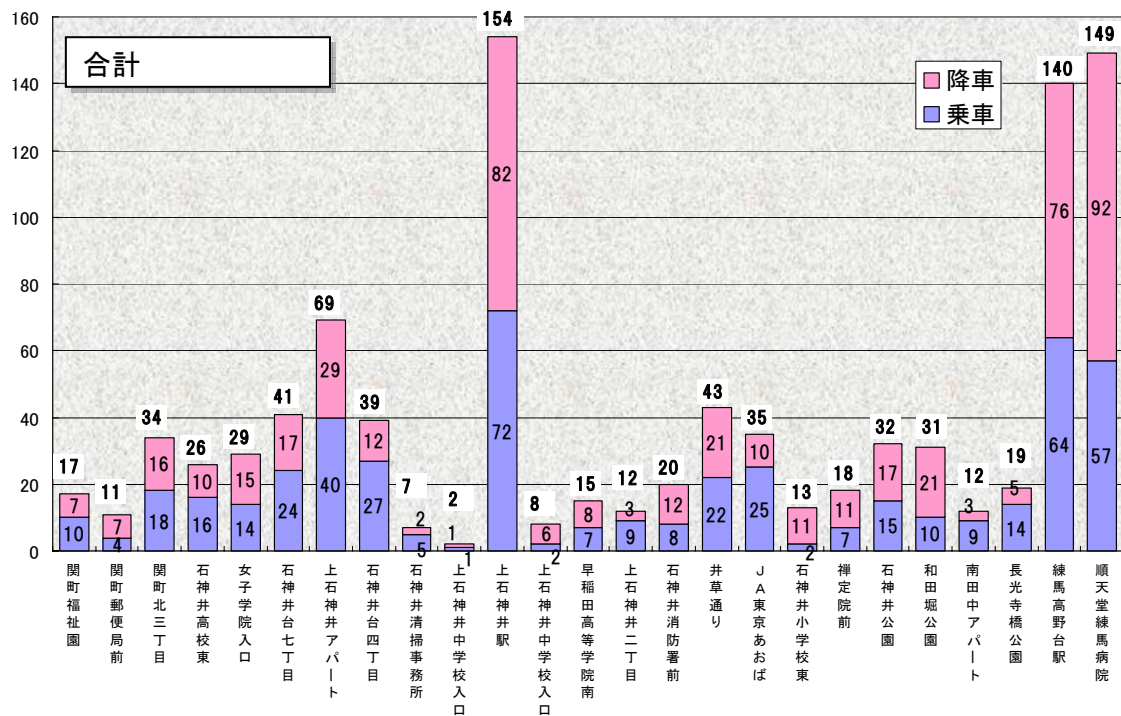


図 2-4 関町ルートของバス乗降客数（合計）3日間全便合計

参考資料2) 関町ルート of バス停間乗車人数 (3日間全便合計) (平成19年度)

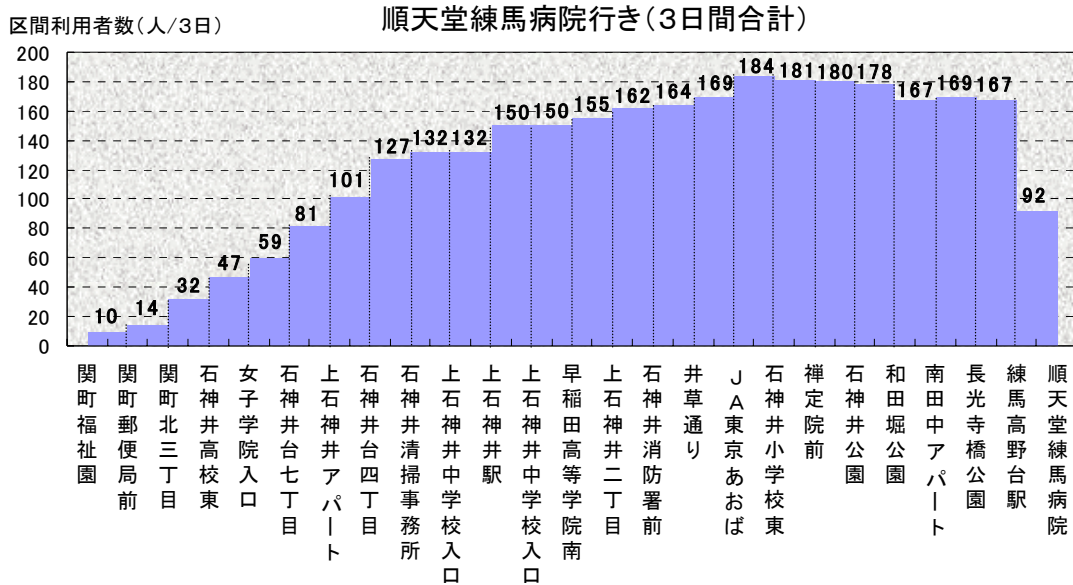


図 2-5 関町ルートの区間利用者数 (順天堂病院行き) 3日間全便合計

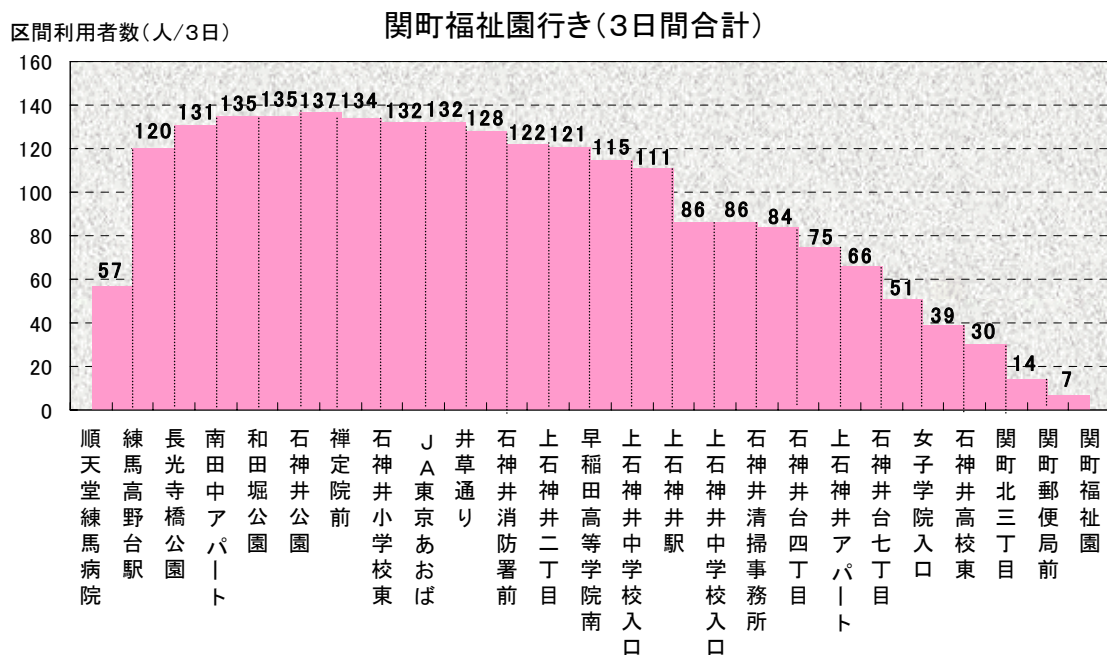


図 2-6 関町ルートの区間利用者数 (関町福祉園行き) 3日間全便合計

(4) 再編検討組織の設置

①地域検討組織の目的・目標

以上の問題点、課題を整理した結果、特に関町周辺において、みどりバス関町ルートの新編検討が必要であり、対象地域住民が主体となって検討を進めるため、「武蔵関駅周辺地域みどりバス検討会」を設置する。

②検討体制

【組織名称】 武蔵関駅周辺地域みどりバス検討会

【参加者】 地元町会、商店会、公募区民をあわせて 21 名

武蔵関駅周辺地域 みどりバス検討会 参加者募集



みどりバス検討会とは

みどりバスを地域の日常の足としてご利用いただくためには、地域住民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。そのために皆様といっしょに便利で効率的な運行のあり方など、みどりバスについて考える組織です。

今回の検討会について

平成21年3月に策定した「公共交通空白地域改善計画」では、区内5路線の再編や新規導入などを位置づけました。このため、みどりバス関町ルート^①の武蔵関駅周辺地域について、路線のあり方やバス停の配置などに対するご意見を伺う検討会の参加者を募集します。

下記の要領をご覧ください、お申し込みください。

(対象) つぎの①②の両方にあてはまる方

①石神井台2・4～8丁目、関町北1～5丁目、関町南3～4丁目、関町東1～2丁目にお住まいの方。

②3月から月1回程度、平日夜間に2時間程度開催する会議に参加できる。

(募集人数) 5名程度(選考)

(申し込み) 切り取り線以下をご記入の上、直接または郵送、ファクス、電子メールで3月2日(必着)までに交通企画課(区役所本庁舎16階)へ。

TEL 5984-1274 FAX 5984-1226 電子メール kotsu-k02@city.nerima.tokyo.jp

郵送先 〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6-12-1 練馬区役所交通企画課あて

※選考された方には交通企画課から直接ご連絡いたします。

----- 切り取り線 -----

武蔵関駅周辺地域みどりバス検討会 応募用紙

①住所		②氏名(ふりがな)	
③年齢		④性別	
⑤職業		⑥電話番号	
⑦応募動機(100字程度)			
<hr/> <hr/>			